



臨床研究に関する情報の公開

作成日:2017/05/01

研究課題名	Deep Learning 技術を用いた腎生検病理画像の自動分類による病理診断の効率化と診断補助に関する研究
研究の対象	2005年1月から2017年3月までに当院で腎生検を受けた患者さん
研究目的・方法	慢性腎臓病の正確な診断のためには、腎生検による腎病理形態診断と臨床診断を行うことが必要ですが、これを専門とする病理医師が不足しています。本研究は、人工知能を用いて腎糸球体画像の形態的所見を分類し腎病理診断を行う手法を開発することを目的とします。また、この方法により診断の見落としや医師の業務負担を低減することを目的とした病理診断支援システムの開発をおこないます。方法としては、全国の多くの施設で行われた腎生検標本を用いて東京大学にあるコンピューターに学習させることにより人工知能を開発し病理診断支援システムを構築します。
研究に用いる試料・情報の種類	腎生検標本を画像として機械（バーチャル顕微鏡）に読み取らせ、コンピューターに病気を学習させます。
外部への試料・情報の提供	データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。
研究組織	主任研究者および研究分担者 東京大学医療情報学；大江和彦 教授、河添悦昌 助教 東京大学工学系研究科；松尾豊 特任准教授、中山浩太郎 特任講師 帝京大学人体病理学；宇於崎宏 教授、東京大学人体病理学；新谷裕加子 助教 川崎医科大学腎臓・高血圧内科；柏原直樹 教授、日本医科大学腎臓病理学；清水章 教授 筑波大学腎臓病理学；長田道夫 教授、東京大学腎臓内科；南学正臣 教授 当院における研究組織 北野病院腎臓内科；塚本達雄 部長、山口亮平 客員研究員
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先： 公財) 田附興風会医学研究所北野病院腎臓内科 塚本達雄 〒530-8480 大阪市北区扇町2丁目4-20 TEL：06-6312-8824 研究責任者： 公益財団法人田附興風会医学研究所北野病院腎臓内科科 塚本達雄 研究代表者： 東京大学医療情報学 大江和彦